



●防犯講習会開催



講習を聞く皆さん

第2部では、昭島警察署生活安全課の小林 均係長の講話で、「オレオレ詐欺」に関する実例が紹介された。

昨年、昭島警察署管内の振り込め詐欺、被害件数は14件、被害額3000万円でした。今年はもう、5件発生し被害額は1700万円になっているそうです。対策は、電話がきたら、一度切って以前の番号に掛けなおすこと、または、本人かどうかの確認は「合言葉を決める」こと、と話された。手口は、ますます巧妙になってきており、特に女性の「親ごころ」スイッチを入れる、オレオレ詐欺が増加しているとのことである。

最後に地元、玉川駐在の上岡一充さんより、市民会議の会員さんのお蔭で、管内の犯罪が減少したこと、お礼の言葉を頂いた。

(防犯防災部会 部長/西野英司、取材/広報部会)

街づくり市民会議の防犯防災部会は、設立10周年記念事業最後の行事、防犯講習会を3月15日(土)中神小学校で開催し、自治会・防犯防災部会・地域活動部会員の29名が参加した。

第1部では、ビデオ①「犯罪が起こらない街をめざしてー青パトが果たす役割」と、②「暮らしの防犯対策」の放映がありました。

市民活動による「青パト」の見せる効果対策で、侵入窃盗・青少年不良行為・自転車2人乗り防止が図られた事例を紹介された。

次に「暮らしの防犯対策」では、侵入窃盗は、玄関ドアのこじ開けに①時間が掛かる②音が鳴る③光を発する④目(他人)が合うなど、侵入者が嫌うことの事例をあげ、さらにワンドア・ツーロックを付け、我が家は我が守る、また、隣近所と仲良く、互いに見回りをする・・・内容でした。



詐欺の説明をする警察署の小林係長

●介護施設の慰問

街づくり市民会議の芸能部会は、地域住民の自主的活動の一環として、芸能祭を実施していますが、平成24年からは、一步踏み込んで、地域内の組織・団体と協力して、街づくりの為の自主的活動を新たな試みとして、実施を始めました。

市民誰しもが、健康で楽しく愉快で、気持ちよく、快適な日々を過ごすことが望ましい。

しかし、残念なことに、人は年とともに老い、体が不自由となり、他人の世話になります。また、早くして体が不自由になる方々もいます。

このことによって、介護を受けている方々に対して、希望を持って、生きがいを感じ、分かち合えるよう、心を込めた芸を披露し、楽しいひと時を過ごし、心の安らぎとなればと考えます。

そこで、芸能部としては、3年目の体験となりますが、今回も場所を変え、昭島市田中町二丁目に所在する、デイサービス「みかん」を、3月18日、部員9名で、午後2時から訪問し、見学者約20名の前で、演目 ①、携帯ピアノシートの演奏、②、南京玉スダレ ③、手品 ④、津軽三味線・胡弓を心を込めて披露しました。

見学者は、熱心に見入り、拍手喝さいによる感動と、感謝の気持ちをあらわし、出演者と和むことが出来ました。

芸能部会 / 小菅和英



携帯ピアノシートの演奏



南京玉スダレ



胡弓

手品